



5月12日 JTSU-E 大地申第5号

「上野東京ライン・湘南新宿ライン乗務員基地再編 について」に関する説明申し入れ交渉開催！【その3】

4. 工事が既に実施されていることから進捗状況を明らかにするとともに具体的な職場レイアウトを示すこと。

(回答) 詳細が決まり次第、必要により周知していく考えである。

団体交渉のやりとり・確認事項

組合

◆ レイアウトについて、どのように進めているのか。

◆ 基地再編施策で支社間異動してきたが、当時新たに出来る職場レイアウトの相談はされなく、不公平だと感じた。今後同様の事がない様にしていきたい。

会社

■ 決定は基本的に支社だが、職場にフロアを検討するワーキング (PT のようなもの) を立ち上げている。構成は宇都宮運輸区の車掌と、小金井運転区の運転士。

■ そういった過去と同じことはしないよう、引き続き検討していく。

5. 小金井運輸区 (仮称) 発足に伴う車掌の確保について考え方を示すこと。

(回答) 任用の基準に則り、取り扱っていく考えである。

団体交渉のやりとり・確認事項

組合

◆ 提案時や先程も述べられていたとおり、車掌の確保は線区を熟知してすぐに乗務できる乗務員を配置することが望ましいと述べられていたが、規模感的にも宇都宮運輸区の車掌だけでは賄い切れない。ということは、支社外からもあるということで良いのか。

◆ 必要な面談があるなら通常面談以外でもしてもらわなくては不公平。

会社

■ まだ決まっていないという事が前提だが、支社間異動ということは述べられない。教育ロスの観点から、車掌確保はその様な考え方になる。社員面談等は、丁寧に行う。

■ 面談以外でも、社員の状況把握は引き続きしていく。

現場のさまざまな声や意見によって、活力ある職場が生まれる！
安全・安定輸送を担う職場として
働きやすい職場の要求をつくり出そう！